

オンラインオリエンテーション に向けて（準備編）



3月中にこの資料に目を通し、Withコロナにおける情報科学部の授業について理解を深めておきましょう。

オンラインオリエンテーションは4/2に枚方キャンパスで配布される各種資料や学生アカウントにもとづいて実施されます。

なお、この資料は大阪工業大学情報科学部を対象としています。

オンラインオリエンテーション運用WG,
情報センター

はじめに

- 2020年度から今年度も引き続き、コロナ禍の影響を多くの大学が受けています
- 我々教職員はどんな状況下であっても全学生に可能な限り最高の教育を提供するために**ベストを尽くします**
- 学生の皆さんもまずは皆さんと皆さんの大切な人たちの健康を考え、次に自らの力と判断で学び続けてください
- 我々は**自ら学ぶ学生**をサポートするためにできるかぎりのことをします

Withコロナ時代の教育実現に向けて

■多様なICTサービスを活用し、情報科学部として下記の実現を目指します

- ◆ キャンパスを活用した対面授業を軸としつつ、遠隔地との連携や高度な情報共有等、より効果の高い教育機会を提供する
- ◆ コロナ禍に限らず、どのような状況下においても学生による主体的な学びをサポートし続けるための柔軟で持続可能な教育環境を提供する

■環境変化への適応やより高度な学びのためにICT技術を活用し、新しいことにチャレンジし続けられる**情報科学部**としての**専門的職業人**の育成を目指していきます

Withコロナを前提とした授業

■ほとんどの授業は十分なスペースを確保したうえで対面で実施されます

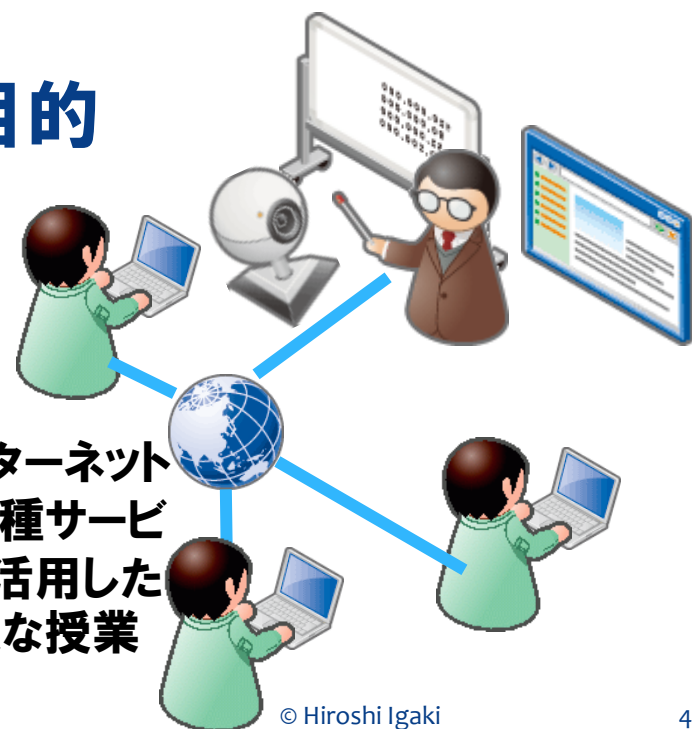
- ◆ 一部の授業はオンラインで実施されます
- ◆ コロナ感染者や濃厚接触者の発生,あるいは保健所の指導によってはオンライン授業に変更になることもあり得ます

■対面授業でも教育効果の向上を目的として様々な学修支援サービスが活用されます

情報科学部の学生にとって、オンライン授業や多様な学修支援サービスに関する体験はこれから皆さんが学ぶ様々なことを含んだ最高の教材です。



3密を回避したうえでの対面授業



インターネットや各種サービスを活用した多様な授業

Withコロナにおける学修環境に求められるもの

■ 必要な機器・機材とインターネット環境(後述)

- ◆ 自宅での学修環境が求められることがあります。今のうちに可能な範囲で備えておきましょう

■ 多様なサービスへの習熟

- ◆ これからの情報社会では常に新しいサービスやツールに習熟し続けていくことが求められます。本学部でも様々なツールを活用し、対面・オンライン双方の授業を実施していく予定です。積極的に活用し、慣れていきましょう。

■ 自分で学習しようというモチベーション

- ◆ 自分で学ぶという意識をしっかりと持ってください
- ◆ 高校までと違い、大学は**学生が自ら学ぶこと**を助けるために存在します
- ◆ 対面・オンライン関係なく分からないことは**自分から質問して**解決しましょう
- ◆ 待っているだけで得られることは何もありません

■ 規則正しい生活

- ◆ 早く起きて早く寝る生活を継続的に行うよう心がけましょう

必要な機器・機材

■ 講義資料や講義ビデオの閲覧, ライブ講義

- ◆ パソコン(スピーカー必須. マイク・Webカメラはグループワークを行う授業などで活用できます)
- ◆ スマホ・タブレット(必須ではないですが資料閲覧・課題提出や講義ビデオ・ライブ講義への参加用にあると便利です)

■ ヘッドセットやイヤフォンなどもあると周囲の環境への影響が減らせます

■ インターネット環境

- ◆ 様々な状況に対応するため, 安定してネットに接続できる環境が自宅にもあることが望ましいです



インターネット環境(通信量と通信速度)

- 講義ビデオ・ライブ講義・講義資料等にアクセスするためにはパソコンがインターネットに接続できる必要があります
- 考慮すべきは通信量と通信速度
 - ◆ ビデオ講義などファイルサイズの大きなものを見るためには多くの通信が必要です(通信量はファイルサイズに依存します)
 - ◆ ライブ講義やビデオ講義のストリーミング配信などでは、一定以上の速さで通信が行えないと再生がSTOPしてしまう
- 資料閲覧のみであれば数MB(メガバイト)程度、講義ビデオやライブ講義閲覧が必要であれば一時間当たり300~500MB程度の通信量と5~10Mbps(メガビーピーエス)程度以上の通信速度が必要となります

多少具体的な話(通信量と通信速度)

■ビデオ講義を1時間見ると概ね300MB～500MBの通信量が必要

- ◆ 1日に2～3コマでビデオ講義が1日3時間程度だとすると1日に1～2GB, 1週間に5～10GB, 1ヶ月で20～40GB程度の通信量が必要になります

■マイク等を用いたグループディスカッションなどの場合5Mbps程度の通信速度が推奨されています

- ◆ Youtube等の通常の動画閲覧であれば500Kbps～1Mbps程度

■通信量や通信速度の単位はコンピュータ入門という授業で学習します

通信速度を計測してみよう！



大学の有線LAN環境でのダウンロード速度(無線だともっと遅い)

■インターネット速度テストサイト(学外サービス)

- ◆ <https://fast.com/ja/>
- ◆ 数M程度のファイルがダウンロードされるので、従量制や制限の厳しいネット環境を利用している学生はアクセスしないこと

■4/2のオンラインオリエンテーションの途中で下記を質問するので、表示される通信速度を記録しておきましょう

- ◆ 自分が契約・利用している回線の通信量・通信速度の**契約上の上限**を確認すること(パソコンから接続するものだけで構いません)
- ◆ **単位がGbps, MbpsかKbpsのどれか**よく確認しましょう
- ◆ 引っ越し前なのでまだ分からない場合等の場合は構いません

参考文献

DTI, “1GB (ギガバイト) で何時間動画を観られるの?”, https://dream.jp/mb/tips_m/wifi19.html

Google, Youtubeヘルプ: システム要件, <https://support.google.com/youtube/answer/78358?hl=ja>

アカウントの話

■2021/4/2にアカウントを配布します

■本学の学生が利用するサービスは大きく分けて2種類あります

◆ 学内サービス

ユーザID「e1?21***」でサインインできる

- ポータル, 履修登録システム, 演習室Linux環境, 本学無線LAN等

◆ 学外サービス

組織アカウント「e1?21***@oit.ac.jp」
でサインインできる

- Office 365 for students
- Google Workspace for Education

■両方ともメールアドレス「e1?21***@st.oit.ac.jp
とは異なるので気をつけること

情報科学部で利用する多様なサービス

- 2021/4/2に配布されるアカウントおよび資料を用いて以下の多様なサービスの使い方の一部を授業開始までに学習してもらいます
 - ◆ 授業によっては下記以外のツールを活用することもあります
- 大学ポータル, 履修登録システム, オンラインシラバス, 学習支援サイト
- Office 365 for students
 - ◆ Outlook, OneDrive, Teams, Teams bot, Forms
- Google Workspace for Education
 - ◆ Google Drive, Meet, Classroom, Forms
- VPNサービス

新しい多様なサービスの活用はこれからの情報社会において**必須の技能**です。分からないことは**自分から質問して**解決していきましょう。待っているだけでは何も得られません。